

科目	地域で暮らす人に対する健康支援				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	① 松原文子				
実務経験	① 保健師(地域包括支援センター等)				
ねらい	地域における暮らしを支える地域共生と多職種連携を理解し、地域で健康に暮らすために求められる看護師の役割を考える。また、健康支援に必要な理論を理解する。				
目標	1. 地域・在宅看護が提供する「暮らしを支える看護」をイメージすることができる。 2. 健康支援に必要な理論が理解できる。 3. ライフステージにおける健康課題達成に向けた施策について理解できる。				
授業計画					
回	内容				
1	地域における暮らしを支える地域共生と多職種連携、				
2	健康行動理論、行動変容理論、自己効力感				
3	ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ				
4	ライフステージによる健康課題と予防①				
5	ライフステージによる健康課題と予防② 母子保健の動向、施策および保健活動				
6	ライフステージによる健康課題と予防③ 成人保健・高齢者保健動向、施策および保健活動				
7	障害を持つ人の保健、難病保健の動向、施策および保健活動				
8	学習のまとめ				
評価方法	学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	地域・在宅看護論の基礎: 医学書院 4章 地域・在宅看護論の実践: 医学書院 7章				